

好生館だより

2008.8

第7号



佐賀県立病院好生館

設立の理念

「好生の徳は民心にあまねし」
「学問なくして名医になるは覚束なきことなり」

基本理念

「病む人、家族、そして県民のところに添った
最良の医療をめざします」

基本方針(目標)

1. 患者様中心の信頼される医療
2. 質の高い最新の医療
3. 県民医療の確保と地域協調の医療
4. 教育の重視と人材の育成
5. 経営努力による健全経営の実現

目次

- 設立の理念、基本理念、基本方針(目標) … 1ページ
- 館長挨拶 …… 2ページ
- 診療科紹介：外科、緩和ケア科 …… 3ページ
- 看護科だより(職場紹介)：
6階東病棟、6階西病棟 …… 4ページ
- 好生館ニュース：ホットラインについて … 5ページ
- 好生館ニュース：クレジットカードについて … 5ページ
- 豆知識：知って得するお薬の話 …… 5ページ
- 新任医師の紹介 …… 6・7ページ
- 外来医師一覧表 …… 8ページ

佐賀県立病院好生館

〒840-8571 佐賀市水ヶ江一丁目12番9号

TEL 0952-24-2171(代表)

FAX 0952-29-9390

<http://www.koseikan.jp/index.html>



館長挨拶

ニュースレター

好生館 館長 榑木 等

平素はお世話になっています。好生館は、昨年度末から、人事を巡って皆様にご心配おかけしました。幸いに、佐賀大学医学部より奇跡的な補充を得て事なきを得ています。現場にとっては、いまだ十分な補充とは言えませんが、徐々に、より充実した外科医療を提供できると存じます。

悩む間もなく次々にスタッフの辞職があり、気が抜けません。これは好生館に限った事ではなく、全国的なことです。一喜一憂しながら、中長期の視点で、スタッフ招聘を目指して参ります。

勤務形態も必ずしも常勤ではなく、フレックスタイム勤務、女性医師支援など自由度を増した対応も現実的な方策と考えています。

今後は、医局に依存しない人事も当たり前になっていくと思われます。

いわゆる拠点病院となるには、若い人に集まっていだけるような病院となる必要があります。求められるのは決して高い給与ではないと思います。良質な労働条件、充実した研修内容が本質的な条件と思われます。そのためにも医療スタッフの増員が可能となるような診療報酬がのぞまれます。好生館をベースにして館外で研修が可能になるようにもしたいものです。

さて、5月9,10日は、好生館が第12回日本救急医学会九州地方会を佐賀市文化会館で開催いたしました。テーマは「救急医療と終末期医療」といたしました。終末期医療は最近多くの分野で取り上げられるようになって来ました。お陰様で多くの参加をいただき盛会でした。

救急医療は好生館が将来構想としても第一に掲げているテーマですが、救急医療を取り巻く環境は厳しいものがあります。良質な救急医療を提供するためには、救急医の確保が

基本です。幾つかの診療科医の不足を言われますが、救急医も筆頭に挙げられます。好生館も苦戦していますが、館内スタッフの協力で、何とか運用できているのが現状です。協力体制だけでは長続きしませんので、専門救急医の育成と充足が喫緊の問題となっています。

一方、救急医療に関する県民の理解も必要です。つまり、コンビ二扱いの救急医療・時間外診療の是正です。救命センターの診療内容の7~8割が一次救急である事実のメッセージを発信する必要があります。せめて1次を2~3割で押さえられたら、救急医は2次3次に集中できます。

今後は、良質な医療提供体制を構築するためには、医療サイドと患者サイドで協働作業が必要です。

今後ですが、来年1月に病院機能評価の再受審が控えており、急ピッチで準備中です。再受審の意味があるのか時に疑問ですが、一度、認定施設になりますと、何となく義務感で継続している気もします。しかしながら第三者からの評価を受ける事は大いに意味があります。認定直後に守っていた幾つかの規則や業務も、時が経つと、つつい現場の習慣でなし崩しになっている事も多く、見直す良いきっかけになります。

同時進行で、2年後に控えた独立行政法人化対策、4年後の新病院将来構想の策定などと重要案件が控えています。

何れも、診療をしながら各診療科のスタッフに負荷をかけています。現場のスタッフが自らの職能、職場環境を改善するために参加するのは当然ですが、あまりに書類、書式、委員会設置などが多く、診療業務に支障をきたさないように留意しています。

病院の基本は良質な医療提供です。本質を見失わないように、医療連携を充実して県民の皆様へ安心、安全な医療を提供できるように努力いたします。

今後ともご支援ご鞭撻を宜しくお願いします。



【診療科紹介】

外科

外科部長 生野 猛

佐賀県立病院好生館外科は消化器外科、呼吸器外科、小児外科の3つの専門診療グループからなっております。現在の常勤スタッフは消化器外科4名、呼吸器外科2名、小児外科2名の合計8名ですが乳腺を専門に診療する医師1名を毎週金曜日に佐賀大学より派遣していただいております。消化器外科は食道癌、胃癌、大腸癌、肝胆管系の疾患、イレウス等を扱い、呼吸器外科は肺癌、気胸等の手術を、小児外科は佐賀県内で唯一の小児外科専門施設として出生直後の新生児の緊急手術から小学生、中学生のヘルニア、虫垂炎等の手術を行っています。外科の手術症例は年々増加傾向にあり平成19年は外科全体で約970例の手術を行いました。内訳は消化器外科約530例、小児外科約320例、呼吸器外科約90例、乳腺約30例でいずれ

のグループも他院と比較すると多くの合併症を有する症例、重症例の手術頻度が高くなっているのが特徴です。成人外科部門では消化器癌、肺癌に加えてイレウスや気胸等の救急疾患を多く扱い2～3例の緊急手術が続く日もあります。政府は年々増加する高齢者の医療費をただひたすら抑制しようと今春から後期高齢者医療保険制度を導入しましたが近年の外科では手術を必要とする高齢者が益々増加しております。逆に、小児外科では先天性水腎症、腹壁破裂といった新生児症例数が増加傾向にあります。更に小児ではできるだけ腹腔鏡手術を心がけ小腸閉鎖、虫垂炎、鼠径ヘルニア等では小さな手術痕しか残らない手術になりつつあります。

外科は今年3月末でこれまで長い間、外科診療を支えてくれた九大第2外科の先生方が全員退職されましたが、4月からは同じ数の外科医を佐賀大学消化器外科、胸部外科より派遣して頂き、患者様との間に特に混乱もなくこれまで同様の外科診療を続けております。好生館外科は地域医療を重視し、患者様中心の医療を心がけこれからも益々がんばってまいりますので宜しくお願い致します。



【診療科紹介】

緩和ケア科

緩和ケア科部長 小杉 寿文

最近、緩和ケアという言葉が耳にされることが多くなったと思います。これは昨年6月に定められた国のがん対策推進基本計画において「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられたために重要性を見直されたからであります。

では緩和ケアとはどのようなものなのでしょうか？対象は主にがんを患う患者さんやそのご家族です。

(海外ではさらに癌以外の神経難病や高齢者も含まれます。) がんとういう病気自体から、また検査や治療(手術や抗癌剤、放射線治療など)から痛みや吐き気、シビレなどさまざまな苦痛を生じることがあります。身体的な苦痛だけでなく、精神的な苦痛も重大です。不安や心配などから不眠になったり食欲が落ちたりすることもあります。また社会的・経済的な苦痛というもあります。治療や入院にかかる費用の問題、自宅で過ごすためのベッドやトイレなどの介護用品や手すりなどを設置するための費用、往診して下さる先生や訪問看護師さん、ホームヘルパーさんとの連絡の問題などいろいろな煩わしさがあります。緩和ケアというのはこれらすべての苦痛を緩和して、できる限り今まで通りの日常生活を送っていただくこと、また必要な治療や検査を受けることができ

るようにお手伝いするためのものです。ですから、決して治療ができなくなつてからはじめるものではありません。検査や治療と並行して苦痛を取り除き、より良い診療を受けていただくことが重要

です。
緩和ケア科ではこれらさまざまな苦痛の治療をしていますが、精神的な苦痛に対しては精神科医や臨床心理士と協力しております。看護科、薬剤科、栄養管理科、相談支援センターなどと協力して緩和ケアチームを作って活動してゆきます。そして、ご自宅での療養を希望される場合は、それに向かつての準備をお手伝いさせていただきます。訪問診療をして下さるクリニックの先生や訪問看護ステーション、ホームヘルパーさんと連絡を取り療養計画を立て、もしものときの連携体制や、経済的な問題などを解決できるように知恵を出し合って協力しましょう。在宅療養はとても不安が強く、誰もがそれを望んでいながら実行に移せるのはごくわずかなのが現状です。しかしひとつひとつの不安が解消できれば、ほとんどの場合、ご自分の生活の中で療養を継続することができるものであると思います。

緩和ケア病棟(ホスピス病棟)というのは、非常に苦痛が強く、専門的な治療を必要としたり在宅での療養を続けることができない場合に利用されます。緩和ケア病棟での治療によって苦痛が取れた場合、退院して更なる癌の治療を継続されたり、ご自宅での療養に移行したりすることができます。緩和ケア病棟とは最期を迎えるためだけの病棟では決してないということが重要です。最期まで自分らしく生きるためのお手伝いをする場所でもあります。

【看護科だより】

(職場紹介)6階東病棟

病棟師長 緒方 貴子

私たちの病棟は主に消化器(食道 胃 大腸 胆嚢)、呼吸器(肺)の手術をされる患者様、また手術後補助療法として化学療法や放射線療法を受ける患者様が入院している外科病棟です。59床のベッド数で5床が手術後観察ベッドになっています。スタッフは外科医8名 看護師25名 クラーク2名 看護助手2名です。H19年度は764例の手術が行われ近年、腸疾患の増加に伴い 人工肛門を造設される患者様が増えてきています。H19年度は25例ありました。手術後も手術前と同様、活動することが可能であることを伝え、正しく理解し、自身で管理できるように援助を行い、早い社会復帰を目標に人工肛門のケアにも力を入れています。毎日の患者様とのかかわりの中から生まれる貴重な看護体験からより質の高い看護サービスを追求していきたいと考えています。医療、看護の仕事はと

ても厳しい一方で、一生懸命にやればやるだけ、私たちの存在を患者様やご家族から認めてもらえる大変価値のある仕事だと思っています。患者様やご家族から「好生館で手術して良かった。スタッフは温かい人たちでした。」と安心 安全を求められる医療者を目指していきます。外科病棟の理念は「患者様も医療チームの一員となる 開かれた安全な医療を提供します。」です。患者様とご家族とスタッフが共に手をつなぎ 一緒に頑張っていきたいと考えています。よろしくをお願いします。



【看護科だより】

(職場紹介)6階西病棟

病棟師長 江副 和代

私たちの病棟は、脳神経外科18床・神経内科12床・耳鼻咽喉科18床、計48床の混合病棟です。スタッフは、脳神経外科医師3名、神経内科医師2名、耳鼻咽喉科医師3名、看護師23名、看護助手(午前・午後各)1名、クラーク1名で構成されています。

脳血管疾患の患者様は、突然の発症によって生命の危機にさらされるのみでなく様々な障がいや後遺症として残るため、患者様や家族の抱える精神的ショックや将来への不安は、計り知れないものがあります。そのため看護師は、患者様の障がいされた機能の回復を図りながら、残存機能を最大限に活用できるよう援助し、患者様と家族の両者へ精神的ケアを行っていく必要があります。そのなかで、地域のリハビリ病院と連携し、必要な方には他職種とカンファレンスを行い、退院計画を実践することで地域完結型医療へ繋げています。また、当病棟では“食べる事は、生きること”をモットーに十分な口腔ケアを行いながら、食べる機能に障がいのある患者様に対して、摂食・嚥下リハビリテーションを実施しています。先に述べた看護介入によって、日々回復していく患者様の姿を通して私たちも元気を頂いています。

耳鼻咽喉科では、手術療法のみではなく、放射線療法・化学療法を受けられる患者様も増える傾向にあります。長期化する入院生活のなかで、受け持ち看護師が関わりを持ちながら身体・精神両面でケアを行い、患者様に安心して入院生活を送って頂けるよう心がけています。

看護師は、看護の対象となる方々が、生涯を通してその最期まで、人として尊厳を持ってその人らしく生を全うできるように援助を行う必要があります。その考えを基本に当病棟のスタッフは、患者様一人一人を尊重し、その人らしさを大切にしながら看護を提供できるよう日々、努力を続けています。

以上のように、より質の高い看護を行うためには、私たちスタッフ一同、自身の心身の健康保持増進に努めながら、安全第一に、明るく笑顔で頑張っていきたいと思えます。これからもよろしくお願いたします。



(好生館ニュース)
ホットラインの開設について

整形外科ホットライン (080) 1708-2658

平成20年4月1日にスタートした整形外科ホットラインでは、運動器（四肢・脊椎）の骨折などの外傷、急を要する麻痺、感染症などの病態について、平日昼間だけでなく24時間365日、当院の整形外科専門医が直接応答し、開業医の先生方や近隣病院の先生方からの患者様のご紹介、ご相談などをお受けいたします。

(好生館ニュース)
クレジットカードが使えます

好生館では、患者さまへのサービス向上の一環として、病院診療費の支払いにクレジットカードが利用できるようになりました。

クレジットカードが利用できるようになると、入院等の高額な診療費をお支払いいただく際に多額の現金を準備していただく必要が無くなりますし、また、急な受診で現金の持ち合わせが無い場合でも安心して受診できるようになります。

金額の多少に関わらずお気軽にご利用ください。

1、取扱時間

平日 8時30分～18時頃

※時間外診療分につきましては、従来どおりのお取扱いとなります。

2、利用可能なお支払い

- ①入院、外来に係る診療費
- ②診断書等の文書料

循環器・心血管外科ホットライン (0952) 24-2178

循環器科及び心臓血管科では、緊急の患者様の受け入れに関して、24時間常時受け入れ態勢を整えております。循環器疾患一般、急患等お役に立てる事がございましたら、迅速な対応を致しますので、緊急の管理処置等必要な患者様がいらっしゃればいつでもご紹介ください。

なお、手術室やICUなどへの入室時には電波の医療機器への影響を考慮し携帯いたしておりません。また移動中で圏外となつてつながらない場合なども考えられます。ホットラインがつかない場合は、病院代表番号(0952-24-2171)へご連絡ください。

③人間ドック、健康診断に係る費用

※食堂、売店では利用できません。
※救急外来等でお預かりする『預かり金』につきましては、ご利用いただけません。

3、お支払い方法

一括払い、分割払い(3回～24回)、リボルビング払い

※分割払い、リボ払いについては、患者さまとカード会社との契約において手数料が必要になる場合があります。

4、利用可能なクレジットカード

JCB、アメリカンエクスプレス、VISA、Master、UFJ、DC、NICOS の7種類のカードがご利用いただけます。



5、取扱い上の注意

クレジットカードの利用限度額を超えてのご利用は出来ませんので、ご確認の上ご利用ください。



【豆知識】

知って得するお薬の話

薬剤長 奥平 献

☆尿に色の付くお薬

セフトゾン（抗生剤）やアスベリン（咳止め）などで赤ちゃんのオムツが赤く染まって、血尿ではないかとビックリされることがあります。これはお薬の色ですのでご心配なく。他の薬剤もあげておきます。


- キネダック → 黄褐色または赤色
- サラソピリン → 黄赤色
- セフトゾン → 赤色
- アロゼンアルゼド → 黄褐色～帯赤黄色～赤色
- アスベリン → 赤みがかった尿
- オダイン → 琥珀色または黄緑色
- アルドメット → 黒色（時間がたつと）
- リマクタン → 橙赤色 汗・痰・唾液・涙液・コンタクトレンズも着色
- アドナ・タジン → 赤色
- フラジール → 暗赤色

☆誤飲と誤嚥の違いがわかりますか。

誤飲は何でも口にもっていくハイハイを始めた赤ちゃんによく見られます。怖いのはアルカリボタン電池、タバコ、ナフトリン、お薬、化粧品などです。ボタン電池は胃酸で溶けて胃に穴が開くことがあります。おもちゃに使用されることがあるので注意しましょう。タバコも大人が口にするので好奇心があります。お薬も手の届かない場所に置いておきましょう。

誤嚥性肺炎はお年寄りに多く見られます。食べ物や喉の奥に来ると脳からの指令で気管がふさがり、食べ物は食道から胃へ導かれます。お年寄りの場合うまく機能しない場合があります。間違つて気管へ入った場合、反射もにぶく巧く咳がでにくい場合があります。おせずに気管に留まり肺炎を起こします。ベッドで食事やお薬を服用する場合は出来る限り身体を起こして行いましょう。また、服用した薬剤が食道に留まり、潰瘍を起こすこともありますのでカプセル剤などは大目の水分で服用しましょう。口の中を清潔に保つのもポイントです。

平成20年4月以降 採用医師一覧表 (医員を除く)

診療科	氏名	顔写真	専門分野	ごあいさつ
内科	小宮 一利 出身大学 佐賀医科大学		呼吸器 日本内科学会認定医・専門医	まだNECに慣れず周りに迷惑かけてます。好生館は初めてですが、非常に働きやすいところだと感じています。どうぞよろしく願います。
	出 勝 出身大学 佐賀医科大学		血液 日本内科学会認定医	これまで佐賀大学付属病院に勤務していましたが、これからは県立病院で佐賀の血液疾患の診療に頑張りたいと思います。よろしく願います。
	松尾 綾子 出身大学 佐賀医科大学		呼吸器	佐賀県出身で私自身も好生館には小さい頃にお世話になっていましたので地域に貢献できるよう頑張りたいと思います。勉強不足でご迷惑をおかけすると思いますがご指導ご鞭撻の程よろしく願います。
外科	佐藤 清治 出身大学 佐賀医科大学		消化器外科 日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医 日本癌治療学会臨床試験登録医 日本がん治療認定医機構暫定教育医	病気のみにとらわれず病人全体を把握しての治療を理念としています。佐賀県中核病院の外科医としての責務を自覚し、地域医療機関との連携を図りつつ、安全で質の高い治療を提供するよう心がけております。
	廣橋 喜美 出身大学 佐賀医科大学		消化器外科 日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・専門医 日本消化器病学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本医師会認定産業医	旧佐賀医大を卒業して23年、消化器外科医として頑張ってきました。この歴史ある県立病院好生館に赴任することになり、今まで積み上げた知識、技術、経験を活かせればと思っています。
	櫻木 徹 出身大学 佐賀医科大学		呼吸器外科 国立がんセンターレジデント 課程修了(平成6年6月~平成9年5月) 日本外科学会認定医・専門医 日本呼吸器外科学会専門医 日本胸部外科学会認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医	質の高い手術の提供を目指します。開業医の先生方との連携を深め、“近くのお医者さん”に任せられる患者さんのマネージメントは積極的に開業医の先生方にご協力をお願いするつもりです。
	田中 聡也 出身大学 佐賀医科大学		消化器外科 日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医 日本消化器内視鏡学会専門医	崩壊の危機に瀕している地域医療に少しでも貢献できるよう、5年ぶりに佐賀に戻ってまいりました。県立病院好生館が担うべき役割を意識し消化器外科の専門医として安全で理解の得られる医療を提供するよう努めます。
	大高 和真 出身大学 佐賀医科大学		消化器外科 日本外科学会認定医	
	大間 寛子 出身大学 佐賀大学		呼吸器外科	何かと不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしく願います。
	古賀和歌子 出身大学 佐賀医科大学		眼科一般	佐賀大学病院との連携をとりながら、地域の方々に少しでも役立てる医療を心がけ、眼科における生活の質の向上を目指し、日々努力していきたいと思っております。
小児科	酒井 菜那 出身大学 佐賀医科大学		小児科全般	日々、子供達が元気になってくれるように奮闘しています。子供達、お母さん方が不安なことを気軽に尋ねていただければと思います。よろしく願います。
	飯盛 智子 出身大学 佐賀大学		小児科全般	県外で勤務していましたが、5月から佐賀に戻り、地元の温かさを感じる毎日です。好生館の小児科医がこれまでの3人から4人に増えました。これまで以上に多くの患者様の期待に応えていけるように、がんばります。

診療科	氏名	顔写真	専門分野	ごあいさつ
泌尿器科	尾畑 紘史 出身大学 北里大学		泌尿器科一般	皆さんのお役にたてるよう精一杯頑張ります。 気軽にご相談ください。
	清水 勅君 出身大学 宮崎医科大学		日本医学放射線学会放射線科専門医 日本がん検診・診断学会認定医	主にCT、MRIの画像診断と血管造影を担当しております。よろしくお願い致します。
	笹栗 弘平 出身大学 佐賀医科大学			業務は主にCT、MRIの画像診断を担当しております。医療の質の向上に貢献できるよう努力していく所存です。よろしくお願い致します。
放射線科	渡辺 哲雄 出身大学 九州大学		日本医学放射線学会放射線科専門医 日本放射線腫瘍学会認定医	放射線治療を担当します。よろしくお願い致します。
	岡本 浩昌 出身大学 佐賀医科大学		日本脳神経外科学会専門医 脳神経外科全般	以前、脳神経外科の研修医として6ヶ月、麻酔科の研修医として3ヶ月、好生館にお世話になりましたが、今回再び脳神経外科医として勤務することになりました。ご迷惑をおかけすると思いますがよろしくお願い致します。
麻酔科	島川 勇介 出身大学 佐賀医科大学		麻酔一般 日本麻酔科学会認定医	今春より県立病院好生館に赴任いたしました。「痛くない、怖くない手術」のために頑張っております。ご縁があればよろしくお願い致します。
	山田 友子 出身大学 佐賀大学		麻酔一般	一年ぶりに佐賀大学病院より好生館に赴任となりました。またよろしくお願い致します。
循環器科	貞松 研二 出身大学 九州大学		循環器一般 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医	専門は虚血性心疾患です。狭心症や心筋梗塞の原因となる冠動脈の狭窄を、カテーテルを使用して、治療することを主にやってきました。これまでの経験を活かして、好生館でよりよい医療ができるようにしたいと思います。
心臓血管外科	村山 順一 出身大学 佐賀医科大学		心臓血管外科一般 日本循環器学会専門医 日本心臓血管外科学会専門医	
	古館 晃 出身大学 佐賀医科大学		心臓血管外科一般 日本外科学会認定医	
救命救急センター	森塚 達也 出身大学 自治医科大学		日本内科学会認定医	
緩和ケア科	小杉 寿文 出身大学 佐賀医科大学		麻酔一般 日本麻酔科学会専門医 日本ペインクリニック学会専門医 麻酔科標榜医	この度、緩和ケアとペインクリニックの専門医として勤務させていただくことになりました。緩和ケアは、診断や治療の早期から痛みや不安などを解消することを目的としております。

佐賀県立病院好生館外来医師一覧表

(平成20年7月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	午 前	総合内科	榑藤 久司	榑藤 久司		榑藤 久司	
		呼吸器(肺)	松尾 綾子	富永 正樹 森塚達也	小宮 一利 松尾 綾子	富永 正樹	小宮 一利
		肝臓・胆道 ・膵臓	大塚 大河 有尾 啓介	秋山 巧	川添 聖治 大塚 大河	川添 聖治	有尾 啓介
		消化器(胃・腸)	山口加奈子	緒方 伸一	大塚 大河	緒方 伸一	山口加奈子
		血液	松石 英城	桑原 伸夫	松石 英城	桑原 伸夫 出 勝	出 勝
		腎臓・透析	富吉 義幸	中村 晃子		富吉 義幸	中村 晃子
		神経内科	高島 洋	高島 洋	西坂 慎也	西坂 慎也	高島 洋
		腫瘍内科	嬉野 紀夫 梅口 仁美	嬉野 紀夫 梅口 仁美	嬉野 紀夫 梅口 仁美	嬉野 紀夫 梅口 仁美	嬉野 紀夫 梅口 仁美
		糖尿病・内分泌					
		外 科	午 前	生野 猛	櫻木 徹	新患当番医	生野 猛
廣橋 喜美	佐藤清治					小池 健太	
田口 匠平	大間寛子				新患当番医	大高 和真	
新患当番医	新患当番医				田口 匠平	新患当番医	
眼 科	午 前	手 術	古賀和歌子 田中ふみ	手 術	古賀和歌子 田中 ふみ	古賀和歌子 田中 ふみ	
産婦人科	午 前	(婦人)	西田 純一 荒木 保博	西田 純一 荒木 保博	手 術	手 術	
小児科	午 前	市丸 智浩 酒井 菜那	垣内 俊彦 飯盛 智子	酒井 菜那 飯盛 智子	市丸 智浩 酒井 菜那	垣内 俊彦 飯盛 智子	
	午 後	(アレルギー外来)	(予防接種)	(夜間診療・7時~9時・一ヶ月健診)	(予約外来)	市丸 智浩	
	午後(時間外)	飯盛 智子	垣内 俊彦	酒井 菜那	飯盛 智子	市丸 智浩	
耳鼻咽喉科	午 前	手 術	宮崎 純二 恒富今日子 木寺 一希	手 術	宮崎 純二 恒富今日子 木寺 一希	宮崎 純二 恒富今日子 木寺 一希	
皮膚科	午 前	武下 泰三 安川 晋輔	武下 泰三 安川 晋輔	武下 泰三 安川 晋輔	手 術	武下 泰三 安川 晋輔	
泌尿器科	午 前	徳田 倫章 狩野 武洋 尾畑 紘史	徳田 倫章 狩野 武洋	手 術	徳田 倫章 尾畑 紘史	手 術	
整形外科	午 前	佛坂 俊輔	手 術	佛坂 俊輔	手 術	野口 康男	
		川口 謙一		前 隆男			
		力丸 俊一		力丸 俊一			
		野口 康男		川口 謙一			
		前 隆男		佛坂 俊輔			
放射線科	午 前	消化管診断外来		梶原 哲郎	梶原 哲郎		
		画像検査部門外来	牧角 健司	笹栗 弘平	笹栗 弘平	清水 勲君	
		消化管造影	梶原 哲郎	牧角 健司	牧角 健司	梶原 哲郎	
		放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経外科	午 前	坂田 修治	岡本 浩昌	坂田 修治	手 術	前田 健二	
精神神経科	午 前	原 富英	原 富英	原 富英	原 富英	原 富英	
循環器科	午 前	貞松 研二 江頭 泰博 田中 玄紀	林田 潔 吉田 敬規	貞松 研二 田中 玄紀	心カテ (急患のみ)	林田 潔 江頭 泰博 吉田 敬規	
心臓血管外科	午 前	手 術	榑木 等 内藤 光三	手 術	内藤 光三 村山 順一	手 術	
麻酔科	午 前 午 後			休 診			
緩和ケア科	午 前	小杉 寿文			小杉 寿文		

※ 救命救急センター 藤田尚宏、藤田亮、森塚達也、大場香織、鍛田晶子

